

# 平成25年 12月 代表者研修会

日時 平成25年12月18日(水)

場所 ホテル日航大阪 4階「孔雀の間」

「IR法案(特定複合施設区域の整備の推進に関する法律案)」、通称「カジノ法案」にまつわる政界の動きと法案そのものの概要に関して衆議院議員の松浪健太先生と大阪商業大学客員教授 美原 融(とおる)先生をお招きして、講演をして頂きました。



## 和久田理事長の挨拶

「本日の代表者研修会は日本におけるカジノ設置に関して、その推進の中心におられる先生方にご講演していただけることになりました。このような企画はこの業界だけでなく、他の業界においてもなかなか実現できないものだと思いますので、代表者の皆様にはご静聴頂き、カジノ法案の概要と成立の見通し、またカジノの現状やパチンコ業界に与える影響などご参考にしていただければ幸いです。」

## < カジノ法案をめぐる経緯と現状 >

カジノ推進法案が来年の通常国会で成立する可能性が高まりました。場所の選定や様々な手続きなどについては実施法案を策定し進めていきます。日本におけるIR(総合型リゾート)構想は、MICE(ミーティング・インセンティブ・コンベンション・エキシビション&イベント)という国際会議もでき、研修施設やエンターテイメント、エキシビションも一緒にできる。そして、その中の5~10%の割合でカジノもできるというものです。カジノの候補地として有力視されているのが東京と大阪で、大阪では「夢洲」と「咲洲」が候補地として挙がっています。また、パチンコ業界との兼ね合いなどについても、庶民の娯楽であるパチンコとカジノは明確な線引きをする必要があり、論議を重ねて整備を進めていきます。



松浪健太衆議院議員

## < カジノを含む統合リゾートの推進と実現 ~ 背景・制度的枠組みの基本・課題・実現の在り方 ~ >



美原 融 大阪商業大学 客員教授

IRとは、カジノ、コンベンション施設、展示場施設、宿泊施設、ショッピングモール、シネマ、その他様々なアメニティ施設を含む複合型観光集客施設でビジネス客・観光客・地元住民を老若男女の区別なく集客できる施設です。IRはカジノを含む総合型リゾートの開発計画を民間開発事業者から公募・選定し、民間資金によって開発します。海外においては、シンガポールのマリナベイやオーストラリアのサウスバンクのようにIR開発によって大きく変貌を遂げています。地域開発によって雇用や税収の増加、観光振興などができるので、早期の実現を提案しています。遊びに時間とお金を消費することは悪いことではないことを国民に理解してもらい、パチンコをエンターテイメント産業として健全な産業に育てて欲しいと思います。



\* 代表者研修会には125社の皆さんがご参加くださいました。